

# 診療予定 カレンダー

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午前12:00	●	●	●	△	●	●	△
午後2:30～午後6:30	●	●	●	△	●	●	△

## 2009年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1 休診
2 全日	3 全日	4 全日	5 休診	6 全日	7 全日	8 休診
9 全日	10 全日	11 全日	12 休診	13 休診	14 休診	15 休診
16 休診	17 全日	18 全日	19 休診	20 全日	21 全日	22 休診
23 全日	24 全日	25 全日	26 休診	27 全日	28 全日	29 休診
30 全日	31 全日					

13日(木)・14日(金)・16日(日)は夏季休業のため休診となります。  
12日(水)～16日(日)まで5日連続で休診です。ご了承ください。

## 2009年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1 全日	2 休診	3 全日	4 全日	5 休診
6 全日	7 全日	8 全日	9 休診	10 全日	11 全日	12 休診
13 全日	14 全日	15 全日	16 休診	17 全日	18 全日	19 休診
20 全日	21 休診	22 休診	23 休診	24 全日	25 全日	26 休診
27 全日	28 全日	29 全日	30 休診			

21日(月)～23日(水)は祝日のため、3日連続で休診となります。

当院サイト掲載の情報もご利用ください。 <http://www.azusawaseikei.com>

## あずさわ通信 第9号

2009年8月1日発行

発行元: あずさわ 医療と癒しの融合

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目36-13

小豆沢整形外科

マツエクリニックビル5F・6F

☎03-5916-4970 ㊟03-5916-4977

# あずさわ通信

第9号  
2009年8月1日発行  
あずさわ 医療と癒しの融合  
小豆沢整形外科

ありがとうございます。  
お蔭様で、小豆沢整形外科は  
開院4周年を迎えました。



こんにちは。院長の平 竜三です。

小豆沢整形外科は、今年2009年8月、開院して丸4年が経ちました。

板橋区・北区の地域の皆様はもちろん、遠方からの患者様にもご支持をいただき、お蔭様でここまで続けてくることができました。

通院された全ての患者様とご家族、それに陰でご支援をいただき  
ました全ての関係者の方々、本当に有難うございます。

まだ歴史は浅いですが、この節目に当たって、皆様に感謝のご挨拶をさせていただきます。

思い起こせば、実は私は元々開業医志向ではありませんでした。しかし、現代東京の人々がいつも非常に多忙で、体の具合が悪くてもなかなか

か病院にも行けず、無理を重ねて働いている人があまりにも多いことを知りました。

受診できない原因のひとつが、生活スタイルに合う通い易い病院が少ないからです。

「もっと通い易く、ほっとするクリニックがあってもいいのではないか？」

「なければ自分たちで作るべきではないか？」

という思いが次第に募り、やがてそれが私の使命感となって、2005年1月、整形外科医院の新設を決意しました。目指したのは、様々な体の痛みを早く和らげ、心も休まるクリニックです。

半年の準備の後、2005年8月2日、ここ小豆沢の地に開院いたしました。



2005年8月撮影



2005年8月撮影

内面へ続きます→

## ご挨拶 お蔭様で開院4周年を迎えました(続き)

開院後、正直言って医院経営は大変困難でした。経営者として私の能力も器量も足りず、毎日悩み苦しみました。しかし、始めた以上戻りません。とにかくひたすら夢中になって、良い診療のご提供に打ち込んできました。

開院時に4年先は遙か未来のように感じましたが、気がついたらもう4年……という感じです。この間、約9,000人の患者様にご利用をいただき、改めて私たちの社会的責任を自覚いたします。

外科は、医院としての目標を再設定いたしました。

それは「**快**の追求」です。

「不快」を減らし、心と体がイキイキ喜ぶ「快」のお手伝いが私たちの役割です。

ここにいらっしゃった全ての患者様が早く「快」の状態となり、更に、長期的かつ真の意味で「快」の人生を送っていただけるよう、職員一同、心より願います。

これからの小豆沢整形外科に、どうぞご期待下さい。

5年目に入り、私たち小豆沢整形

## ヤシの木も元気に成長しました!!



2005年8月



現在

## 院長記事 水上バスに乗ってきました! — 前編 —

こんにちは。院長の平です。

隅田川を下り、東京湾やお台場・葛西臨海公園へと向かう観光船(水上バス「東京水辺ライン」)は有名ですね。ゆったりと川風に当たりながら、隅田川に掛る個性豊かな橋を次々とくぐり、川岸からみえる町並みの変化を楽しめる小さな船旅は、パリのセーヌ河の観光船とも比較され、東京観光の目玉の一つとなっています。

両国発から乗るコースが一般的ですが、実は小豆沢にも小さな船着場があるんです。

私は以前から小豆沢発での船が気になっていましたが、先日のある土曜日、ついに、念願かなって乗船してきました。

両国からお台場のコースは毎日3便運行していますが、小豆沢発の河下りは土・日だけで、しかも1日1便しかありません。発着場は、環八通りの日産環八板橋店の直ぐそばの新河岸川にあります



写真1



写真2

〔写真1・2〕。

出発の船は川を遡って、小豆沢発着場でUターンします〔写真3・4〕。

乗り込むと船室は広く、冷房が効いていて、暑い日でも快適です〔写真5〕。



写真5

午前10:45、船は下流に向けて動き出しました。

神谷を過ぎた11時丁度、後方を振り返ると右側に青く巨大な岩淵水門があり〔写真5〕、ここで荒川の水が混ざってきます。新河岸川は、この岩淵水門から名前が隅田川と変わります。



写真6

残念ながら今回は紙面が尽きてしまいました。続きは次回お伝えします。お楽しみに。



写真3



写真4